
決 議

九州新幹線西九州ルートは、平成 24 年 6 月に武雄温泉～長崎間の認可がなされ、現在、平成 34 年度までの開業に向け着実に工事が進んでいる。

しかしながら、その認可の前提であるフリーゲージトレインについては、開発が遅れ、未だ安全性・経済性の課題が解決しておらず、更には、山陽新幹線への乗り入れができないことが明らかとなったことから、事実上、西九州ルートへの導入が困難となった。

そのような中、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線（西九州ルート）検討委員会」において、西九州ルートの整備のあり方等の検討が行われているところであるが、本年 3 月に国土交通省から報告された各整備方式の比較検討結果では、時間短縮効果、投資効果及び収支改善効果のいずれにおいても、フル規格による最も高い整備効果が示されたところである。

政府、与党、関係省庁等におかれては、下記事項について、早急に実現するよう強く要望する。

記

- 一 山陽新幹線への直通運行を実現し、現在整備中の武雄温泉～長崎間のインフラを十分に活用できる最善の選択肢として、フル規格により西九州ルートを整備すること。併せて、西九州ルートへの直通運行も視野に入れた JR 佐世保線の輸送改善に向けた支援の充実を図ること
- 一 整備新幹線建設に伴う地方公共団体の建設費負担について、建設費の縮減を図るとともに、国が開発を進めてきたフリーゲージトレインの導入が困難になったという特殊事情も考慮し、負担軽減のための制度を充実・創設すること

以上、決議する。

平成 30 年 5 月 28 日

長崎新幹線・鉄道利用促進協議会